

2023年5月1日

各 位

大同生命保険株式会社
代表取締役社長 北原 睦朗

厚生労働省ほか実施

2022年度版「健康スコアリングレポート」にて すべての指標で最上位ランクの評価を獲得！







T & D保険グループの大同生命保険株式会社（社長：北原 睦朗）、大同生命健康保険組合（理事長：谷中 伸行）は、日本健康会議^{※1}・厚生労働省・経済産業省が実施する2022年度版（2021年度実績分）「健康スコアリングレポート」^{※2}の予防・健康づくりに関する取組み状況において、3つの指標（下表参照）のすべてで最上位ランクの評価を獲得しましたので、お知らせいたします。

大同生命は、大同生命健康保険組合と協働して、「定期健診の二次健診」「特定保健指導の対象者への実施勧奨」「会社パソコンでの特定保健指導の実施」などを実施するなど、「健康経営（DAIDO-ココ・カラ）」に積極的に取り組んでおり、「健康経営優良法人（ホワイト500）」に7年連続で認定されるなど高く評価いただいています。

＜参考＞2023年3月8日付ニュースリリース：7年連続で「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定
https://www.daido-life.co.jp/company/news/2023/pdf/230308_news.pdf

また、当社は、「健康経営[®]」^{※3}の総合支援ツールとして「KENCO SUPPORT PROGRAM」を提供するなど、中小企業への「健康経営」の普及にも積極的に取り組んでいます。

今後も、すべての従業員が心身ともに健康で生き生きと働ける職場の実現を目指して、従業員の日々の健康増進に積極的に取り組むとともに、中小企業の「健康経営」の実践支援を通じて、「中小企業とそこに働く人々が生き生きと活躍できる社会作り」に貢献してまいります。

「特定健康診査」 ^{※4} 「特定保健指導」 ^{※5} 実施率	健康状況	生活習慣														
<p>総合評価 </p> <p>○実施率にもとづく当組合の順位^{※6}は下記のとおり。</p> <table border="1"> <tr> <td>単一組合順位</td> <td>130位 / 1,127組合</td> </tr> </table> <p>[特定健診の実施率]</p> <table border="1"> <tr> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> </tr> <tr> <td>94.0%</td> <td>93.3%</td> <td>94.1%</td> </tr> </table> <p>[特定保健指導の実施率]</p> <table border="1"> <tr> <td>2019</td> <td>2020</td> <td>2021</td> </tr> <tr> <td>51.7%</td> <td>62.6%</td> <td>64.6%</td> </tr> </table>	単一組合順位	130位 / 1,127組合	2019	2020	2021	94.0%	93.3%	94.1%	2019	2020	2021	51.7%	62.6%	64.6%	<p>総合評価 </p> <p>○以下のリスク保有者の割合をもとに評価。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥満リスク ・血圧リスク ・肝機能リスク ・脂質リスク ・血糖リスク 	<p>総合評価 </p> <p>○以下のリスク保有者の割合をもとに評価。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・喫煙習慣リスク ・運動習慣リスク ・食事習慣リスク ・飲酒習慣リスク ・睡眠習慣リスク
単一組合順位	130位 / 1,127組合															
2019	2020	2021														
94.0%	93.3%	94.1%														
2019	2020	2021														
51.7%	62.6%	64.6%														
<p>＜評価方法＞</p>  <p>全健保組合平均を100とした際の各組合の相対値を高い順に5等分し、「良好 」から「不良 」の5段階で表記しています。</p>																

- ※1：「日本健康会議」とは、少子高齢化が急速に進展する日本において国民一人ひとりの健康寿命延伸と適正な医療について、行政のみならず、民間組織が連携し実効的な活動を行うために組織された活動体です。
- ※2：「健康スコアリングレポート」は、2018年度より日本健康会議が保険者のデータヘルスを強化し企業の健康経営との連携（コラボヘルス）を推進するため、厚生労働省・経済産業省と連携し、従業員等の健康状態や医療費、予防・健康づくりへの取組み状況等をスコアリングし、経営者に通知するものです。
- ※3：「健康経営[®]」は、NPO法人 健康経営研究会の登録商標です。
- ※4：「特定健康診査」とは、生活習慣病の予防のために、40歳から74歳を対象にメタボリックシンドローム（腹囲等の計測）に着目した健診です。
- ※5：「特定保健指導」とは、特定健康診査結果から生活習慣病発症リスクが高く、生活習慣の改善による予防効果が期待できる者を対象に保健師等が行うサポートです。
- ※6：特定健診・特定保健指導の実施率について、特定健康診査等実施計画期間における保険者種別目標の達成率の高い順にランキングしています。

（下記「a+b」の高い順にランキング
 a = 特定健診の実施率の種別目標達成率×100
 b = 特定保健指導の実施率の種別目標達成率×100（小数点以下四捨五入）

<KENCO SUPPORT PROGRAM（KSP）の概要>

- ・KSPは、企業の「健康診断の受診促進の支援」、経営者・従業員個々の「生活習慣病等の発症リスク分析」、継続的な健康増進の取組みを促す「健康促進ソリューション・インセンティブの提供」など健康経営に必要なPDCAサイクルの実践を一貫して支援するWebサービスです。

